

(講座) 分子創薬科学 (研究室) 分子薬理学
(氏名) 井上 誠 (職名) 講師

【研究テーマ】

1. 遺伝子改変動物を用いた痛みと痛みを抑える生体分子機構の解明
2. オピオイド耐性・依存形成における分子基盤の解明

【学会発表】

B 国内学会

(B-b) 一般講演

1. 小牧誉典、山口明日香、井上誠、植田弘師：神経因性疼痛に対するニコチン関連薬物の鎮痛作用機序解析、第8回ニコチン・薬物依存研究フォーラム学術年会、2005年3月（名古屋）
2. 久保慎司、松本みさき、井上誠、植田弘師：NMDA受容体 $\text{GluR}\epsilon 1$ 遺伝子レスキューによるモルヒネ慢性耐性・依存性形成に関与する脳領域の同定、第8回ニコチン・薬物依存研究フォーラム学術年会 2005年3月（名古屋）
3. 高山尚子、久保慎司、井上誠、植田弘師：モルヒネ慢性耐性・依存性形成とノシセプチン神経、第8回ニコチン・薬物依存研究フォーラム学術年会 2005年3月（名古屋）
4. 松本みさき、井上誠、植田弘師：神経因性疼痛における侵害性線維の乗り換え仮説：機能消失するサブスタンスP含有性C線維、薬理学サマーセミナー2005長崎 2005年9月（長崎）
5. 山口明日香、松本みさき、井上誠、植田弘師：末梢性疼痛（APF）試験法による高感度かつ低ストレス性侵害応答評価、薬理学サマーセミナー2005長崎、2005年9月（長崎）
6. 松本みさき、井上 誠、植田弘師：神経結紮誘発性神経因性疼痛に対するモルヒネ先制鎮痛効果、平成17年度 生理研研究会 「痛みの分子メカニズムと治療戦略」2005年12月（名古屋）
7. 木口倫一、三浦花子、中原麻美、井上誠、下山恵美、植田弘師：がん性神経因性疼痛とモルヒネ耐性、平成17年度 生理研研究会 「痛みの分子メカニズムと治療戦略」2005年12月（名古屋）

【研究費取得状況】

1) 文部科学省科学研究費

平成17年度 科学研究費補助金（萌芽研究）特定中枢性神経ネットワークのMRIによる非侵襲的可視化技術の開発（代表：井上 誠）

2) 民間研究費

平成17年度 財団法人ノバルティス科学振興財団研究奨励金、リゾホスファチジン酸による難治性の脱髄性神経因性疼痛の分子基盤解明（代表：井上誠）

【学会役員等】

1. 日本薬理学会評議員

【過去の研究業績総計】

原著論文 (欧文)	38 編	(邦文)	0 編
著書 (欧文)	0 編	(邦文)	17 編